

「9月度チャート教室」

□説明内容□

「507」裁定買い残は大幅減少している。売り玉出尽くしから底値から上昇間近か。
10月も日銀の日経平均(ETF)買い支えが続くので下げたら買い場になる。
中間決算出揃う10月後半から11月頃から上昇に動き出すか。
30年平均線(16800円)を意識した動きは続く。上回れば上昇転換する。
11月米国大統領選が終わると再上昇相場に向かう可能性は強まる。選挙結果待ち。

1. 日経平均株価の動き 【月足チャート】

- ①月足では6ヶ月移動平均線(16600円)を上回れば底入れから上昇確認ポイント。
30年平均線(16800円)以上を定着出来れば、年末から3月に向け上昇相場へ向かう。
30年平均線以上の水準を維持できないと上昇基調に戻せない。判断ポイント。
日経平均は6ヶ月移動平均線前後だが、まだ1部単純平均・日経400種平均は下回る。
- ②6ヶ月+カイリ銘柄数・東証1部平均PERと株価水準
6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数は、7月末997→8月末738銘柄→9月(16)857に回復した。
9月は6ヶ月移動平均線上回る銘柄数800銘柄以上を維持できるか確認。
9月は800銘柄以下なら再下降転換。800以上なら上昇持続。
(6ヶ月+カイリ銘柄数は、800以上増加で上昇転換・800以下で下降転換)
(銘柄選択・月足NO20・6ヶ月+カイリ銘柄数選択(市場選択時ETF除外にチェック))
- ③裁定買い残の減少続く。過去最低の水準まで減少する【月足マルチチャート】
裁定買い残は2億株まで減少。リーマン後の水準を下回り過去最低水準。
裁定買い残の減少が止まると底入れから上昇の可能性は高くなる。
10月か11月から増加に転ずると、3月SQに向け増加は続く可能性あり。
- ④日足チャートは75日移動平均線(16300円)を上回る底堅さはある【日足チャート】
日銀買い支えで、株価は75日移動平均線(16300円)を上回る状態を維持している。
200日移動平均線(17160円)との価格差が縮小したとき上昇相場に向かう。
「121」東証1部単純平均が75日移動平均線を上回ると全体に底入れ感が出る。

2. 10月は底入れ待ち・底値立ち上がり銘柄から絞り込む【月足+日足チャート】

■月足選択条件 NO3・上昇トレンド好業績底値銘柄探し

■月足選択条件 NO5・月足上昇トレンド底値銘柄探し

■日足選択 NO13・上昇トレンド初動銘柄

◆月足 NO1・月足基本チャート◆日足 NO9・18.22 日 R C I チャート

(参考例)

- ・東証 1 部・3086 J フロント・東証 1 部・3099 三越伊勢丹・東証 1 部・4116 大日精化
- ・東証 1 部・4185 J S R・東証 1 部・4743 I T F O R・東証 1 部・6351 鶴見製作所
- ・東証 1 部・6409 キトー・東証 2 部・6832 アオイ電子・東証 1 部・7729 東京精密
- ・東証 1 部・8059 第一実業・東証 1 部・8084 菱電商事・東証 2 部・9768 いであ

3. 日足チャート(NO6)陰陽足・75 日ボリンジャーバンド(追加)

追加チャートで強い上昇トレンド銘柄を見る

◆基調別■有望銘柄

◆日足銘柄選択条件■NO4・【スイング】強い上昇銘柄

◆日足チャート NO6・陰陽足・75 日ボリンジャーバンド

(参考例)

- ・東証 1 部・2378 ルネサンス・東証 1 部・3408 サカイオーベ・東証 1 部・3662 エイチーム
- ・東証 1 部・4187 大阪有機化学・東証 1 部・4739 C T C・東証 1 部・4968 荒川化学
- ・東証 1 部・4974 タカラバイオ・東証 1 部・5423 東京製鐵・東証 1 部・5602 栗本鉄工
- ・東証 1 部・6407 C K D・東証 1 部・7504 高 速・東証 1 部・8251 パルコ

1. 日経平均株価の動き 【月足チャート】

①月足では6ヶ月移動平均線(16600円)を上回れば、底入れから上昇確認ポイント。

30年平均線(16800円)以上を定着出来れば、年末から3月に向け上昇相場へ向かう。

30年平均線以上の水準を維持できないと上昇基調に戻せない。判断ポイント。

日経平均は6ヶ月移動平均線前後だが、まだ1部単純平均・日経400種平均は下回る。

7月に日銀のETF買い年間3.3兆円→6兆円に増額の発表から、8月から上げに転じ9月SQに向け17000円台に乗せた。月足で見る上値抵抗線は30年平均線(16800円)です。まだ30年平均線を上回る水準は戻り場になりました。SQ明けから売られたが、日足チャートで見る下値支持線は、75日移動平均線(16300円)をキープしました。

10月から年末に向け、どのような相場展開へ向かうか。10月下旬から11月に9月中間決算が発表されます。個別株ではリーマンショック後の下げ幅まで下げた株も多くあり、業績発表では悪材料出尽くし感は強まると見えています。そのため日経平均は、10月下旬から11月に底入れから上昇に向かうと見えています。

今年から日銀が日経平均(ETF)を買い始めてから、「507」裁定買い残は2億株まで減少し続けています。外国人売りを日銀が買い支えている形です。外国人の売り物が減っている事を表しています。日銀は買うだけで売りませんから、ここまで減少すると、日経平均への売り要因は薄れ、上げ要因に変わると見えています。

日経平均の上値抵抗線は30年平均線(16800円)です。この上値抵抗線を突破してくれば、再上昇相場に転換したと言えます。10月には裁定買い残の売り物が出尽くし、中間決算が出揃う11月には30年平均線(16800円)を突破してくると見えています。2月下旬から3月SQに向け、上昇基調は続くと見えています。

まだ東証1部単純平均、日経400種平均指数など、まだ6ヶ月移動平均線を下回っています。相場全体が上昇相場に向かう時は、東証1部単純平均、日経400種平均指数など、6ヶ月移動平均線を上回ってきた時です。このあたりが相場の観察ポイントです。

日経平均 【月足チャート】



1部単純平均 【月足チャート】



1. 日経平均株価の動き

②6ヶ月+カイリ銘柄数・東証1部平均PERと株価水準

6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数 7月末 997→8月末 738 銘柄→9月(16)857 に回復した。

9月は6ヶ月移動平均線上回る銘柄数 800 銘柄以上維持できるか確認。

9月は800 銘柄以下なら再下降転換。800 以上なら上昇持続。

(6ヶ月+カイリ銘柄数は800 以上増加で上昇転換・800 以下で下降転換)

(銘柄選択・月足 NO20・6ヶ月+カイリ銘柄数選択(市場選択時 ETF 除外にチェック))

東証1部銘柄(ETF・REIT 除く)の6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数で、相場のボトム・ピーク・基調の転換・相場の強弱を掴むことが出来ます。6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数が800 銘柄以上に増加すると上昇転換。800 銘柄以下に減少すると下降転換と判断します。

6月末 451(225 種 44)銘柄→7月末 997(225 種 104)→8月末 738 銘柄(225 種 104)→9月(16)857 銘柄(225 種 94)まで少し回復しました。日銀が日経平均を買い支えている事もあり、8月末から9月 SQ に向け、東証1部銘柄全体では6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数は増加したが、SQ が終わると売られました。

9月は売られても800 銘柄以上をキープしているので、日銀の買い支えの効果は出ていると言えます。10月も大幅に下回らなければ、増加に転じ、底入れに向かうと見ています。225 種銘柄で113 銘柄(半数)を上回れば上昇転換と判断出来ます。

800 銘柄以下なら弱い下降相場、800 銘柄以上なら上昇相場へ向かうと判断されます。6ヶ月移動平均線を上回る銘柄数の観察から相場の転換や状態を掴むことができます。

◆6ヶ月+カイリ銘柄数・東証1部平均PERの出し方◆

・月足・銘柄選択で6ヶ月+カイリ銘柄数の設定方法・

■月足銘柄選択条件■

◆NO20・「6ヶ月+カイリ銘柄数選択」

指標名	選択基準	本1	本2	以上	以下
1.株価カイリ率	実数値	6		0.10	999999.99 (%)

東証1部銘柄から、この条件で毎月末選択し、結果の銘柄数を採用しています。

(銘柄選択・市場選択時に「ETFを除外」する・チェックして下さい)

■週足・銘柄選択■で東証1部平均PER(連結)の設定方法・

指標名	選択基準	本1	本2	以上	以下
1.PER(連結)	実数値			0.00	999999.99 (倍)
2.PBR(連結)	実数値			0.00	999999.99 (倍)

東証1部銘柄から、この条件で毎月末選択し、検索結果画面の最下段の平均値を採用しています。

■週足・銘柄選択■で東証1部平均PERの設定方法・

指標名	選択基準	本1	本2	以上	以下
1.PER	実数値			0.00	999999.99 (倍)
2.PBR	実数値			0.00	999999.99 (倍)

東証1部銘柄から、この条件で毎月末選択し、検索結果画面の最下段の平均値を採用しています。

◆6ヶ月+カイリ銘柄数・東証1部平均PERの表◆

2016年東証1部銘柄対象(約1980銘柄・ETF除外)									
	12ヶ月 移動平均 上向き数	6ヶ月 移動平均 上向き数	6ヶ月 +カイ離 上回リ数 (1部銘柄)	6ヶ月 +カイ離 上回リ数 (225種)	PER 平均 (単独)	PER 平均 (連結)	PBR 平均 (連結)	6ヶ月 RCI 50以上	終値
9月16	746	775	857	94	30.6	22.4	1.4	419	16519
8月末	493	1014	738	104	30.5	22.2	1.4	370	16887
7月末	453	687	997	104	31.4	22.7	1.5	513	16569
6月末	411	337	451	44	33.7	21.8	1.4	373	15575
5月末	561	449	881	101	36.1	23.9	1.5	268	17234
4月末	562	473	482	49	28.6	24.6	1.5	134	16666
3月末	654	776	477	32	24.4	22.1	1.5	146	16758
2月末	566	374	272	25	22.4	20.7	1.4	207	16026
1月末	906	430	505	58	25.5	23.6	1.5	515	17518
2015年東証1部銘柄対象(約1980銘柄・ETF除外)									
12月末	1170	730	910	106	28.5	25.0	1.6	464	19033
11月末	1299	803	1133	135	29.3	26.3	1.6	282	19747
10月末	1311	818	746	98	31.3	24.3	1.5	249	19083
9月末	1010	634	312	17	29.9	22.0	1.4	290	17388
8月末	1283	888	596	60	31.1	23.3	1.5	562	18890
7月末	1473	1374	1075	138	35.6	24.7	1.6	896	20585
6月末	1522	1379	1189	149	35.1	24.7	1.6	1022	20235
5月末	1679	1500	1436	193	35.6	24.6	1.6	1129	20563
4月末	1638	1502	1391	194	40.6	25.1	1.6	1095	19520
3月末	1491	1296	1296	173	41.2	30.7	1.7	1031	19206
2月末	1519	1390	1390	190	40.2	30.3	1.6	936	18797
1月末	1318	1230	1123	144	39.6	27.9	1.5	898	17674
2014年東証1部銘柄対象(約1800銘柄・ETF除外)									
12月末	1213	1292	1226	163	39.4	27.0	1.5	879	17450
11月末	1253	1490	1187	172	36.9	23.7	1.4	846	17459
10月末	1233	1413	1149	143	34.6	25.0	1.4	992	16413
9月末	1254	1331	1400	168	35.1	25.8	1.5	1191	16173
8月末	1489	1270	1316	151	33.7	24.9	1.4	1067	15424
7月末	1412	1165	1407	180	33.5	24.6	1.4	891	15620
6月末	1410	932	1353	169	32.4	24.2	1.4	545	15162
5月末	1092	748	737	91	28.3	22.7	1.3	311	14632
4月末	881	813	533	51	33.2	22.6	1.4	342	14304
3月末	1244	945	820	59	35.7	24.3	1.4	521	14827
2月末	1396	1320	701	82	37.2	23.3	1.4	620	14841
1月末	1498	1285	1006	106	38.9	23.6	1.5	929	14914
2013年東証1部銘柄対象(約1780銘柄・ETF除外)									
12月末	1653	1430	1463	212	38.6	24.6	1.5	1160	16291
11月末	1669	1242	1242	183	38.6	25.4	1.4	1074	15661
10月末	1678	878	1281	160	35.8	22.8	1.4	717	14327
9月末	1614	1193	1200	159	33.2	21.8	1.4	372	14455
8月末	1597	1110	594	107	29.5	18.6	1.2	378	13388
7月末	1609	1302	878	146	29.8	19.6	1.3	687	13668
6月末	1519	1486	978	169	30.0	19.0	1.3	992	13677
5月末	1657	1668	1334	220	30.6	19.5	1.3	1345	13774
4月末	1512	1702	1666	214	52.0	23.1	1.5	1511	13680
3月末	1235	1635	1605	210	48.0	24.6	1.3	1530	12397
2月末	1215	1619	1625	216	47.2	23.1	1.2	1497	11599
1月末	1342	1588	1658	220	57.3	23.3	1.2	1285	11138

1. 日経平均株価の動き 【月足マルチチャート】

③裁定買い残の減少続く。過去最低の水準まで減少する【月足マルチチャート】

裁定買い残は2億株まで減少。リーマン後の水準を下回り、過去最低水準。

裁定買い残の減少が止まると底入れから上昇の可能性は高くなる。

10月か11月から増加に転ずると3月SQに向け増加は続く可能性あり。

8月「507」裁定買い残は、2009年のリーマン暴落後の水準を下回りました。過去最低に減少し、9月の「507」裁定買い残動向には注目していました。ここまで減少が続く事は外国人売りが続いているのでしょうか。日銀は売り物を買って支えと言う形で吸収しています。残すは2億株で0株になりますから、もう売り物は出尽くしていると言えます。

10月も「507」裁定買い残の減少が続くなら、さらに売り物出尽くし感は強まり、11月以降は買いに転ずるのでは無いかと見ています。11月に増加に転ずる事は、12月SQから3月SQまで増加に転ずる可能性あり。または売り物が止まれば、ETF買いと言う形で増加に転じていると見ることも出来ます。裁定買い残動向から見ると底入れは近く、10月底入れすると11月以降は上昇に転ずる可能性は高くなります。

【月足マルチチャート】



1. 日経平均株価の動き 【日足チャート】

④日足チャートは 75 日移動平均線(16300 円)を上回る底堅さはある【日足チャート】

日銀買い支えで、株価は 75 日移動平均線(16300 円)を上回る状態を維持している。

200 日移動平均線(17160 円)との価格差が縮小したとき上昇相場に向かう。

「121」東証 1 部単純平均が 75 日移動平均線を上回ると全体に底入れ感が出る。

日足チャートで見る底入れ確認は、日経平均が 75 日移動平均線(16300 円)を上回って判断できます。上昇転換確認は 200 日移動平均線を上回ると確認できます。今は 75 日移動平均線(13550 円)と 200 日移動平均線(16900 円)の 2 線の価格差は約 500 円幅です。この 2 線幅が縮小する事が日柄整理期間と見ます。

8 月初め 2 線幅は約 900 円幅あり、9 月初め約 700 円に縮小し、9 月(16)に約 500 円幅まで縮小しました。この分では 10 月下旬から 11 月には 2 線幅は無くなり、株価が 75 日移動平均線(下値支持線)に下支えられた状態から、200 日移動平均線以上に押し上がる上昇基調に向かう可能性が出てきます。今後は株価が 75 日移動平均線(16350 円)をキープし、200 日移動平均線(16900 円)を突破するか観察ポイントです。

市場全体では、「121」東証 1 部単純平均指数は、チャートの、まだ 75 日移動平均線を下回っています。75 日移動平均線を下回る状態は、市場全体がまだ底入れしていないと判断できます。あくまで 225 種(日経平均)だけ、買い支えもあり上昇に転じても、全体ではないと判断されます。

「121」東証 1 部単純平均指数の 200 日移動平均線と 75 日移動平均線の 2 線幅が縮小し、200 日移動平均線を上回った時が、市場全体が上昇転換したと判断できる時です。このあたりが観察ポイントです。

【日足チャート】 ■NO9・18・22 日 RCI



2. 10月は底入れ待ちから底値立ち上がり銘柄から絞り込む【月足+日足チャート】

■月足選択条件 NO3・上昇トレンド好業績底値銘柄探し

■月足選択条件 NO5・月足上昇トレンド底値銘柄探し

■日足選択条件 NO13・上昇トレンド初動銘柄

◆月足 NO1・月足基本チャート◆日足 NO9・18.22日RCIチャート

(参考例) ・東証1部・3086 J フロント・東証1部・3099 三越伊勢丹・東証1部・4116 大日精化

・東証1部・4185 J S R・東証1部・4743 I T F O R・東証1部・6351 鶴見製作所

・東証1部・6409 キトー・東証2部・6832 アオイ電子・東証1部・7729 東京精密

・東証1部・8059 第一実業・東証1部・8084 菱電商事・東証2部・9768 いであ

国策として、日銀は金融緩和を続け、マイナス金利幅を掘り下げようとしています。また日経平均ETFを年間6兆円買う方針を発表。相場格言「国策に売り無し」の如く、外国人売りが終われば上昇に向かうと見えます。そうしますと、個別株は底入れ銘柄から絞り込むのが安全な方法です。

底入れには、上昇トレンド・下降トレンドの2つのトレンドがありますが、今回は上昇トレンドの底入れ銘柄から絞り込みます。月足銘柄選択条件■月足選択条件 NO3・上昇トレンド好業績底値銘柄探し。■月足選択条件 NO5・月足上昇トレンド底値銘柄探し。から絞り込みます。また日足選択条件では■日足選択 NO13・上昇トレンド初動銘柄からも絞り込みできます。

月足上昇トレンドの底入れは、60ヶ月移動平均線(5年平均)が上向きの状態で、株価が60ヶ月移動平均線前後で6ヶ月移動平均線を上回ってきた動きから判断します。6ヶ月移動平均線を上回り、下値を切り上げてきた動きです。60ヶ月移動平均線が下向きの状態は下降トレンドです。

次は日足チャートで75日移動平均線を上回り、75日移動平均線と200日移動平均線の2線幅が狭まっている状態を、日柄整理が終わりかけている状態と見ます。この様な状態は底入れ銘柄と判断できます。この様な中から良い状態の株を絞り込みます。

■月足選択条件 NO3・上昇トレンド好業績底値銘柄探し

条件	結果	実行	単独	AND	OR	月足	週足	日足	基準日
*全銘柄 [上昇トレンド好業績底値圏銘柄探し] 0月前 2016年 9月16日									
指標の選択									
テクニカル指標 株価・足型 財務業績 一目均衡表 ピボット									
1:決算月	11:PBR	21:1株益	31:現金等残						
2:資本金	12:ROE(連結)	22:配当	32:CFマージン						
3:発行株数	13:ROA(連結)	23:経常利率(連結)	33:フリーCF						
4:総資産	14:PER(連結)	24:売上高(連結)	34:対CF比						
5:自己資本	15:PBR(連結)	25:経常益(連結)	35:時価総額						
6:自己資本比率	16:配当利回	26:税引益(連結)	36:最低購入額						
7:1株当純資産	17:経常利率	27:1株益(連結)	37:単位株数						
8:ROE	18:売上高	28:営業CF	38:単独銘柄						
9:ROA	19:経常益	29:投資CF							
10:PER	20:税引益	30:財務CF							
■月足条件NO3■上昇トレンド好業績底値銘柄探し 初期化 削除 上へ移動 下へ移動									
選択条件の表示									
No	指標名	選択基準	本数1	本数2	本数3	期間	連続	選択条件の削除	以下
1	終値	実数値							99999999.99
2	総売買代金平均	実数値	1					20.00	99999999.99
3	株価移動平均	前日比	60					0.10	99999999.99
4	株価カイリ率	実数値	60					-60.00	20.00
5	株価カイリ率	実数値	6					0.10	99999999.00
6	SRV-D	実数値	9					0.00	50.00
7	税引益(連結)	当期値						1000.00	99999999.99
8	1株益(連結)	当期値						30.00	99999999.99
9	1株益(連結)	変化率					1	2.00	99999999.99
10	PBR(連結)	実数値						0.00	2.00

■月足選択条件 NO5・月足上昇トレンド底値銘柄探し

条件 結果 実行 単独 AND OR 月足 週足 日足 基準日

*全 銘柄 月足上昇トレンド底値銘柄探し 0日前 2016年 9月16日

指標の選択
 テクニカル指標 | 株価・足型 | 財務業績 | 一目均衡表 | ピボット

1:決算月	11:PBR	21:1株益	31:現金等残
2:資本金	12:ROE(連結)	22:配当	32:CFマージン
3:発行株数	13:ROA(連結)	23:経常利率(連結)	33:フリーCF
4:総資産	14:PER(連結)	24:売上高(連結)	34:対CF比
5:自己資本	15:PBR(連結)	25:経常益(連結)	35:時価総額
6:自己資本比率	16:配当利回	26:税引益(連結)	36:最低購入額
7:1株当純資産	17:経常利率	27:1株益(連結)	37:単位株数
8:ROE	18:売上高	28:営業CF	38:単独銘柄
9:ROA	19:経常益	29:投資CF	
10:PER	20:税引益	30:財務CF	

■月足条件NO5■月足上昇トレンド底値銘柄探し 初期化 削除 上へ移動 下へ移動

選択条件の表示

No	指標名	選択基準	本数1	本数2	本数3	期間	連続	以上	以下
1	終値	実数値						0.00	99999999.99
2	総売買代金平均	実数値	1					20.00	99999999.99
3	株価移動平均	前日比	60					0.10	99999999.99
4	株価カイリ率	実数値	60					-30.00	20.00
5	株価カイリ率	実数値	6					1.00	99999999.99
6	SRV-K	2カ月	9	SRV-D	9			0.00	99999999.99
7	SRV-D	実数値	9					0.00	50.00
8									
9									
10									

■日足選択条件 NO13・上昇トレンド初動銘柄

条件 結果 実行 単独 AND OR 月足 週足 日足 基準日

*全 銘柄 上昇トレンド初動の銘柄 0日前 2016年 9月16日

指標の選択
 テクニカル指標 | 株価・足型 | 財務業績 | 一目均衡表 | ピボット

1:決算月	11:PBR	21:1株益	31:現金等残
2:資本金	12:ROE(連結)	22:配当	32:CFマージン
3:発行株数	13:ROA(連結)	23:経常利率(連結)	33:フリーCF
4:総資産	14:PER(連結)	24:売上高(連結)	34:対CF比
5:自己資本	15:PBR(連結)	25:経常益(連結)	35:時価総額
6:自己資本比率	16:配当利回	26:税引益(連結)	36:最低購入額
7:1株当純資産	17:経常利率	27:1株益(連結)	37:単位株数
8:ROE	18:売上高	28:営業CF	38:単独銘柄
9:ROA	19:経常益	29:投資CF	
10:PER	20:税引益	30:財務CF	

■日足条件NO13■上昇トレンド初動銘柄 初期化 削除 上へ移動 下へ移動

選択条件の表示

No	指標名	選択基準	本数1	本数2	本数3	期間	連続	以上	以下
1	株価移動平均	2カ月	25	75				0.00	5.00
2	株価移動平均	2カ月	25	200				0.00	5.00
3	株価カイリ率	実数値	25					0.00	99999999.99
4	株価移動平均	連続上昇	25				1		
5	株価移動平均	連続上昇	75				1		
6	総売買代金平均	実数値	5					100.00	99999999.99
7									
8									
9									
10									

(チャート参考例)

■東証1部・4116 大日精化■月足チャート■NO1・月足基本チャート

月足チャートでは、60ヶ月移動平均線(5年平均)は上向きの上昇トレンドです。月足チャートでは60ヶ月移動平均線を上回り、60ヶ月移動平均線が上向きに転ずると、株価の上昇幅は大きくなり、上昇期間は長く伸びます。上昇トレンドで見る底値圏は60ヶ月移動平均線(5年平均)前後で下げ止まる確率は高くなります。

月足チャートでは2013年1月から60ヶ月移動平均線を突破する上昇転換から、2015年5月に674円の高値を付けるまで上昇相場は続きました。現在60ヶ月移動平均線は上向きの状態です。今年の株価の底値を見ますと、60ヶ月移動平均線前後で下げ渋りました。7月以降、6ヶ月移動平均線を上回り底入れの動きが出ています。今後も6ヶ月移動平均線を下値支持線に上回る状態なら、底入れから上昇に向かうと判断できます。

■月足チャート■NO1・月足基本チャート



(チャート参考例)

■東証1部・4116 大日精化■日足チャート■NO9・18・22日RCI

日足チャートでは、7月に75日移動平均線を上回り底入れの動きです。8月から9月は、75日移動平均線と200日移動平均線の2線幅でボックス状態です。チャートのには、200日移動平均線を上回らないと上昇基調に向かいませぬ。上昇基調に向かうには、75日移動平均線は200日移動平均線の2線幅が縮小しないと難しいでしょう。

株価が上昇基調に向かうと判断できるのは、200日移動平均線と75日移動平均線の2線幅が縮小し、株価が200日移動平均線を突破する時です。この様なところが今後の観察ポイントです。

■日足チャート■NO9・18・22日RCI



(チャート参考例)

■東証2部・6832 アオイ電子■月足チャート■NO1・月足基本チャート

月足チャートでは、60ヶ月移動平均線(5年平均)は上向きの上昇トレンドです。月足チャートでは60ヶ月移動平均線を上回り、60ヶ月移動平均線が上向きに転ずると、株価の上昇幅は大きくなり、上昇期間は長く伸びます。上昇トレンドで見る底値圏は60ヶ月移動平均線(5年平均)前後で下げ止まる確率は高くなります。

月足チャートでは2012年11月に60ヶ月移動平均線を突破し、上昇転換しました。2014年12月に6330円の高値を付けるまで大幅高しました。大幅高する株の条件は、60ヶ月移動平均線以上に値上がりし、上昇トレンドになってからです。今年の株価は高値から3分の1まで下げました。株価は60ヶ月移動平均線を下回る水準で下げ渋り、8月から6ヶ月移動平均線を上回り底入れの動きが出てきました。今後も6ヶ月移動平均線を下値支持線に上回る状態なら、底入れから上昇に向かうと判断できます。

■月足チャート■NO1・月足基本チャート



(チャート参考例)

■東証2部・6832 アオイ電子■日足チャート■NO9・18・22日RCI

日足チャートでは、8月に75日移動平均線を上回り、底入れの動きが出てきました。8月から9月は、75日移動平均線と200日移動平均線の2線間でボックス状態です。チャートのには、200日移動平均線を上回らないと上昇基調に向きません。上昇基調に向かうには、75日移動平均線は200日移動平均線の2線幅が縮小するか、株価が200日移動平均線を突破しないと難しい。

まだ200日移動平均線と75日移動平均線の2線幅は約1200円の価格差があり、もうしばらく上昇基調に向かうには日柄がかかりそうだと判断できます。200日移動平均線と75日移動平均線の2線幅が縮小し、株価が200日移動平均線を突破すると、上昇基調に転換したと判断できます。この様なところが今後の観察ポイントです。

■日足チャート■NO9・18・22日RCI



3. 日足チャート(NO6)陰陽足・75日ボリンジャーバンド(追加)

追加チャートで強い上昇トレンド銘柄を見る

- ◆基調別 ■有望銘柄
- ◆日足銘柄選択条件 ■NO4・【スイング】強い上昇銘柄
- ◆日足チャート NO6・陰陽足・75日ボリンジャーバンド

(参考例)・東証1部・2378 ルネサンス・東証1部・3408 サカイオーベ・東証1部・3662 エイチーム

- ・東証1部・4187 大阪有機化学・東証1部・4739 C T C・東証1部・4968 荒川化学
- ・東証1部・4974 タカラバイオ・東証1部・5423 東京製鐵・東証1部・5602 栗本鉄工
- ・東証1部・6407 CKD・東証1部・7504 高 速・東証1部・8251 パルコ

日足チャートに75日ボリンジャーバンド・陰陽足(75日・35日・15日)を組み合わせたチャートを作りました。このチャート条件を使って株価の強弱を判断します。75日陰陽足、35日陰陽足、15日陰陽足、3種類の本数全てが陽転している状態は強い上昇状態と判断できます。

75日ボリンジャーバンドでは、中心線は75日移動平均線です。75日移動平均線(中心線)が上向きで、35日陰陽足、15日陰陽足が陽転中で、株価が15日陰陽足を上回っている状態は強い上昇状態です。強い上昇局面では、株価は75日ボリンジャーバンド+1シグマを上回って推移します。3本の陰陽足が陽転中で、+1シグマを上回る状態は上昇基調を続けます。長らく上昇相場が続いた後、15日陰陽足が陰転すると売り場。+1シグマを下回っても売り場です。75日移動平均線(中心線)を上回る状態は下げたら押し目です。

◆日足銘柄選択条件 ■NO4・【スイング】強い上昇銘柄

条件 結果 実行 単独 AND OR 月足 週足 日足 基準日

*全 銘柄 【スイング】強い上昇銘柄 0日前 2016年 9月16日

指標の選択

テクニカル指標 | 株価・足型 | 財務業績 | 一目均衡表 | ピボット

1:決算月	11:PBR	21:1株益	31:現金等残
2:資本金	12:ROE(連結)	22:配当	32:CFマージン
3:発行株数	13:ROA(連結)	23:経常利率(連結)	33:フリーCF
4:総資産	14:PER(連結)	24:売上高(連結)	34:対CF比
5:自己資本	15:PBR(連結)	25:経常益(連結)	35:時価総額
6:自己資本比率	16:配当利回	26:税引益(連結)	36:最低購入額
7:1株当純資産	17:経常利率	27:1株益(連結)	37:単株株数
8:ROE	18:売上高	28:営業CF	38:単独銘柄
9:ROA	19:経常益	29:投資CF	
10:PER	20:税引益	30:財務CF	

■日足条件NO4 ■【スイング】強い上昇銘柄

初期化 削除 上へ移動 下へ移動

選択条件の表示

No	指標名	選択基準	本数1	本数2	本数3	期間	連続	以上	以下	
2	株価移動平均	連続上昇	75				1			
3	株価移動平均	2カ月	10	25				0.10	20.00	
4	株価移動平均	2カ月	25	75				2.00	20.00	
5	株価カイリ率	実数値	10					0.10	8.00	
6	陰陽足(終)	連続上昇	4				1			
7	陰陽足(終)	連続上昇	5				1			
8	SRV%K	実数値	120					80.00	100.00	
9	ボリンジャーバンド	連続拡大	75				1			
10	終値	実数値						100.00	99999999.99	
11	総売買代金平均	実数値	1					100.00	99999999.99	

- 基調別
- スイング
- 個別登録
- 選択結果
- 持株
- 市場別
- 業種別
- 印刷
- ヘルプ

15

(チャート参考例)

■東証1部・2378 ルネサンス■日足チャート■NO6・陰陽足・75日ボリンジャーバンド

新しく追加した組み合わせチャートです。75日ボリンジャーバンドと3本の陰陽足で判断します。

7月後半に15日陰陽足、35日陰陽足は陽転しました。その後75日移動平均線(中心線)を上回り、底入れの動きがでました。75日陰陽足(中心線)が上向きに転じ、35日陰陽足、15日陰陽足、3本の陰陽足が陽転した状態は強い上昇状態です。

上昇状態が強まると、75日ボリンジャーバンドは拡大し始めます。また株価は+1シグマを上回る上昇が続きます。または15日陰陽足を上回っています。このような条件が整っている時は上昇基調が続きます。

75日ボリンジャーバンドでは、+1シグマを下回ると勢いが弱まり売り転換してきます。+1シグマを上回っている状態なら上昇継続です。また15日陰陽足が陰転すると、いったん売り場となります。このあたりが判断ポイントです。

■日足チャート■NO6・陰陽足・75日ボリンジャーバンド



(チャート参考例)

■東証1部・4968 荒川化学■日足チャート■NO6・陰陽足・75日ボリンジャーバンド

新しく追加した組み合わせチャートです。75日ボリンジャーバンドと3本の陰陽足で判断します。

7月半ばに15日陰陽足、35日陰陽足、75日陰陽足は陽転しました。その後は、75日陰陽足(中心線)、35日陰陽足、15日陰陽足、3本の陰陽足が陽転した状態が続く強い上昇状態です。

現在は、75日陰陽足(中心線)、35日陰陽足、15日陰陽足、3本の陰陽足の陽転状態は続き、強い上昇状態です。75日ボリンジャーバンドは拡大し、株価は+1シグマを上回る上昇を維持しています。15日陰陽足も上回っています。この様な条件が整っている時は上昇基調が続きます。

75日ボリンジャーバンドでは、+1シグマを下回ると勢いが弱まったと判断でき、売り転換してきます。+1シグマを上回っている状態なら上昇持続です。また15日陰陽足が陰転すると、いったん売り場となります。このあたりが判断ポイントです。

■日足チャート■NO6・陰陽足・75日ボリンジャーバンド

